レッスン：SPA.NO.27

テーマ：アークエンジェルとの同調

SPA/NO.27/KE7/O3 N/97

私の姉妹・兄弟たち

スピリット、光、火の子供たちよ。

私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

実存の世界に現在のパーソナリティーがあります。しかし現在のパーソナリティーは生の真の現れではなく、思考・行動の仕方としての現れであり、思考の現れであって、ブレーシス（＊神の意志）、つまり神の黙想の現れではありません。黙想は生の現象の特質ではなく、生それ自体の特質です。現在のパーソナリティーは思考を現わし、思考は二元性の結果です。

以前のレッスンで述べたように、現在のパーソナリティーは二つの小文字のエゴの結果です。小文字のエゴとしての現在のパーソナリティーの半分は現在のパーソナリティーを無知のなかに留めようとし、もう半分は引っ張ろうとします。そして全体として現在のパーソナリティーは啓発に向かうのです。しかし、無知という限界のなかにいる現在のパーソナリティーがあり、実際それらの限界、境界は（無知のシールドおよび保護シールドに加えて）時間のなかで現在のパーソナリティーが創造したもの全てから現在のパーソナリティーを守ります。さらに、この特定の惑星上だけでなく様々な宇宙のなかで、時間のなかで全人類が創造したものから守ります。

現在のパーソナリティーは四つの壁のある部屋のなかにいます。ドアーを開けようとする前に素質的可能性をある程度表現することができるように、この部屋のなかで現在のパーソナリティーは懸命にワークをする必要があります。好奇心から外に何があるかを見ようとしてドアーを開ける前に、あるいは部屋から出て地中に入る前に。

さて、そのためには現在のパーソナリティーは実存の世界のなかで現在のパーソナリティーに付き添っているそれらのアークエンジェルたちに同調する必要があります。いわゆる守護大天使、一人のミカエル、一人のガブリエル、一人のラファエル、一人のウリエルがいます。部屋のなかでやるべき努力とはこれら五人のアークエンジェルに同調することです。守護大天使はあなたのインナーセルフと一つになっているので、実際には四人のアークエンジェルです。

ですから私たちは自分の部屋、無知の部屋にいます。私たちは直接にそれらの壁の一つと向き合います。目の前にあるこの壁は鏡のような純白の光を放っています。しかしそれはこの世界の鏡ではなくて、純粋な白光を放つ鏡です。部屋のそのサイドは現在のパーソナリティーを示していますが、しかし限界のなか、この鏡のなかの現在のパーソナリティーではありません。私たちがこの鏡の中という理由は、あなたがこの鏡のなかに見る像は“二次元”ではなく三次元のものであり、あなたがそこに何を見ようともそれは完全性を示し、限界・制限のない現在のパーソナリティーの現れを示しています。しかし、初めはワークは部屋の右側のサイドから始まり、目の前のサイドからではありません。

前に述べたように右側に90度回転し、赤い光を放つ壁に向かいます。この光は火のエレメントを示し、ミカエルがこのエレメントを支配しています。しかし、この部屋ではそのアークエンジェルのオーダーではなく、あなたの現在のパーソナリティーに付き添っているそのミカエルだけに同調します。

Page2

この位置から再び右に90度回転し、最初あなたの背後にあった壁に向かいます。この壁からホワイトブルーの光が放射されており、この光は水のエレメントを示し、ガブリエルが支配しています。しかし、ここでも同じようにそのガブリエルと同調します。

次に、左に180度回転し、再び純白の光の壁に向かいます。初めにスタートした壁です。再び、左に90度回転して別に壁に向かいます。そこからはウルトラ・バイオレットの光が放射されています。その光はエーテルのエレメントを示し、それらのバイブレーションのなかには空気があります。エーテルの一番下の形態は空気であり、ラファエルがこのエレメントを支配しています。ここでもそのラファエルに同調します。

ですから、三つのアークエンジェル、つまりミカエル、ガブリエル、そしてラファエルです。この位置から右に90度回転し純白の光を放つ壁に向かいます。さて、この光のなかでアークエンジェル、ウリエルの助けによって自分の前に自分自身のイメージを見るようにします。しかし、前に述べたようにそのイメージは表現の限界のなかに取り込まれていないので“完全”です。このワークではウリエルから大いに助けられますが、しかし同調する時には現在のパーソナリティーに付き添っているそのウリエルに同調します。

ですから四つのアークエンジェルがいます。守護大天使の役割は何でしょうか？守護大天使の役割は、小文字のエゴとして述べた現在のパーソナリティーの部分（しかし、そこには生のスパークが根付いています）を引っ張ることです…啓発に向けて。

生のスパークと言うとき、それはどういう意味でしょうか？魂のセルフ・エピグノシスのスパークおよび魂のセルフ・エピグノシスはいわゆる罪の意識という部分を表現しています。ですから、現在のパーソナリティーの啓発に向けて生の二つのスパークが引っ張っています。現在のパーソナリティーのもう一つの部分は“生き残ろう”とする部分、無知のなかで留まり生き残ろうとする部分です。

現在のパーソナリティーがそれ自身と会話をしている時、現在のパーソナリティーは誰と話していると思いますか？最内奥のセルフですか？違います。現在のパーソナリティーの残りの半分と話をしており、その二元性の結果として思考、想念があるのです。私たちのするべき努力とはいわゆる創造的想念、思考を現すことであり、創造的思考と言うとき、それは前に述べた神の黙想として述べた現れと非常に近いものです。生は黙想し、現在のパーソナリティーは思考を現わし、考えます。生は考えません。生は実現する必要があります。思考も聖なる贈り物ですが、それは生それ自身の特質ではなく、生の現象の特質です。

部屋に戻りましょう。前のレッスンで述べたように、私たちがすべき努力とは、自分が立っている部屋の中央から、肉体から前面のイメージ、完全であると私たちが述べたイメージに向かって意識を移送することです。完全と言うとき、完全とは何だと思いますか？完全とは現在のパーソナリティーの三つの不定形の体が再形成され、そのイメージにおけるそれら三つの不定形の体が完全にあるべき形になっていることです。そのイメージに向かって意識を移送するわけですが、その唯一の目的はいかなる影響をも受けることなく現在のパーソナリティーを観察し、そのイメージのなかから自分の現在のパーソナリティーを見ることです。いかなる影響をも受けずに、思考・行動のいかなる制限をも受けることなしに。それゆえに私たちの前にあるイメージは完全であり、全体として完全な体なのです。そこから、いかなる影響もなしに私たちは自分の思考・行動の仕方を見ることができるのです。

そのとき、肉体には何らかの意識が残っているのでしょうか？答えはイエスです。意識が全部完全に移行するのではありません。さもないと制限のなかに現れをいかにして見ることができるでしょうか？残っている意識の部分は、イメージのなかに、純白の光のなかの現象的同一体のなかに移送される意識とつながっています。

Page3

ですから、そのための努力は必要ですが、それを行う能力はミカエル、ガブリエル、ラファエル、そして最後にウリエルの助けを通じて得られます。何回も述べたように、ウリエルは他の三つのコーディネーターであり、他の三つのアークエンジェル達が行っている仕事をコーディネートします。彼らはまた実存の諸世界にいても現在のパーソナリティーに提供しています。なぜなら、実存の諸世界にあるものは何であれこれら四つのアークエンジェルのオーダーによって築かれているからです…つまりミカエル、ガブリエル、ラファエル、そしてウリエルです。

四つ目のエレメントについてはどうでしょうか？四つ目のエレメントは何回も述べたようにルシファーと呼ぶアークエンジェルのオーダーによって監督されており、それはまた原因・結果の法則、言い換えればバランスの法則を支配しています。しかし実際には、それらのプロジェクション、つまりルシファーのエレメンタルとして創造されたもの（それを私たちはサミュエルと呼んでいますが）がそのエレメントを管轄しています。私たちはそれらのどのエレメントとも、またルシファーとも同調することはしません。

私たちのするべき努力とは無知から抜け出すこと、バランスの法則を背後に残して調和、調和の法則に入ることです。実際、調和それ自体は創造の諸世界における一つのイデア、法則です。従って、この部屋のなかで私たちがまず行うべき努力とは私たちが時間のなかで創造した低次のバイブレーションのエレメンタルと直面するために必要な全ての手段を用意することです。それによって四面ピラミッドのなかに立つためです。しかし、このピラミッドのなかに入る前に、やるべきワークがたくさんあります。さらにまたエーテルの特質、つまり運動、感覚、刻印エーテルの特質をマスターするためのワークもたくさんあります。それらの特質をマスターすることなしに、いかにしてその部屋のなかでイメージ化、視覚化することができるでしょうか？ですから、あなた方は再びそれらのエクササイズをスタートする必要があり、またこの部屋のなかで三面ピラミッド、五面ピラミッド、そして一面ピラミッドのシンボル使います。六面ピラミッドはこの部屋からは使いません。

また二つの梯子についても話しました。ロゴス的梯子、それはミカエルのオーダーが監督しており、もう一つの梯子は聖霊的梯子、言い換えればそれはヤコブの梯子であり、ラファエルがそれを管理しています。

さて部屋のなかで行われることは全て、後に四面ピラミッドのなかで行う真のワークに向けてのものです。しかし、あなたが四面ピラミッドのなかに立つようになると、いわゆる意識的意識のセルフ・エピグノシスを現わし、無意識的ではなく意識的に生きるようになります。

この形での意識にはどれほど多くのレベルがあるのでしょうか？たくさんあります。どれほどの転生でしょうか？誰もわかりません、それは現在のパーソナリティー次第です。誰のなかにも素質的可能性があり、それは一つの形態の意識の完成のみならず、一回の転生で自己実現を完成させる能力が誰のなかにもあります。それは現在のパーソナリティー次第、個人次第です。何であれ現在のパーソナリティーが達成することは素質的可能性のサイクルのなかにあり、一回の転生の間でそれを達成することは可能です。それは勿論、蓋然的可能性のサイクル次第であり、それは時間・空間の意味内における特定のパーソナリティーの活動の結果です。

さて、このレッスンから先、私たちは多くのエクササイズを行います。それらのエクササイズの目的はただ一つ、四つのアークエンジェルのヒポスタシス（＊状態）との同調を助けることです。実存の諸世界においてあなたに付き添っているアークエンジェルたちです。勿論、このワークは気づきの上昇に向けてのワークです。パワー、能力を発揮する助けにはなりません。

ですから私たちはエクササイズを続けます。そして再び繰り返しますが、それらのエクササイズはあなただけのものであることを覚えておいてください。他の人々に伝えることのないようにしてください。この種のワークには適切なガイダンスが必要です。というのも、適切なガイダンスなしには何事も達成されないからであり、もしエクササイズが誤用されるとどうなるでしょうか？私たちはそれを提供するのを中止するでしょう。つまり、この知識を今後も引き続き表面にもたらすことを許されなくなります。なぜなら、私たちが入ろうとしているこの知識は生の道(Avenue of Life)に入るための最初の鍵だからです。それは現在のパーソナリティーが180度回転するのを助けます。

Page4

無知のなかにいる現在のパーソナリティーは下向きであり、五感を使用して自分を表現しています。五芒星は下向きになっています。私たちは180度回転させて、それを上向きにする必要があります。そして今現在のパーソナリティーは五感の使用を通じてセルフを表現していますが、現在のパーソナリティーの真の感覚、それは五つの超感覚です。

エクササイズ　SPA NO.27/NO.1

静かに座り…あなたの心を騒がせるもの全てを解き放ちます…純白な自分自身をイメージし、自分の形の境界を感じます…あなたは純白であり、自分の形の境界を感じています…五芒星のなかで守られている自分自身を見て下さい…あなたは五芒星の光のなかにいます。…この光、五芒星の輝く白い光は守護シールドを提供しています。

あなたは暗いなかに立っており、自分の周囲が見えません…あなたのいるところは真っ暗です…五芒星あるいはあなたから放射される白い光にもかかわらず自分のいる場所を見る助けにはなりません。純白の光があっても。

右に90度回転して別の方向に向かいます…しかし、そこでもあなたの前は真っ暗であり、自分の立っているところが見えません…今ミカエルの助けを求めます…徐々にあなた自身からの白い光があなたの前の闇を照らし出します…少しづつ正面が見えてきます…今や、自分の前にもう一つの光が見えてきます…それは赤い光です…あなた自身からの白い光が離れたところで赤の光と出会います…そして今や前がはっきりと見え、この赤い光が五芒星の白い光のなかに滲透し、あなたの身体の前面に触れます…この赤い光はあなたの、前の壁から来ます…この達成を助けてくれたミカエルに感謝を捧げ…90度右に回転します…再び前は真っ暗であり何も見えません…ガブリエルに助けを求めます…前がすこしづつ見えるようになり、前からの光が五芒星の光およびあなたの光と出会います…あなたの前方からくるその光はホワイトブルーです…それは純粋なホワイトブルーです…今それが目の前の壁から来ていることに気づきます…その光はあなた自身の光に滲透し、あなたの身体の前面に触れます…この達成、前方のこの光を見ることを助けてくれたガブリエルに感謝を捧げます…

それではこの位置から左に180度回転し、再び闇に面しています…前に何も見えません、何のビジョンもありません…さらに左に90度回転します…同じように真っ暗で前には何も見えません…ラファエルの助けを求めます…あなたからの白い光がすこしづつ暗闇に滲透し、もう一つの光があなたの白い光と出会い、あなたに向かってくるのが見えます…それはウルトラ・バイオレット（超紫）色で、それは目の前の壁から来ています…あなたにはそれがわかります…はっきりと見えます…その光はあなたの白光に滲透し、あなたの身体に触れます…この達成を助けてくれたラファエルに感謝を捧げます…

それでは再び右に90度回転します…初めは真っ暗でなにも見えません…しかしウリエルに助けを求めると、少しずつ見えるようになりあなたの白い光がその闇のなかに滲透します…そして今純白の光が目の前に見えます…その光の輝きはあなた自身から発せられる白い光よりももっと輝いています…その光はあなたの光のなかに滲透し、あなたの身体に触れます…今やあなたの前に見えるのは純白の輝かしい光です…しかし、ウリエルの助けによって少しづつ目の前の壁から来るその光のなかにあなた自身と同じイメージが見えます…それはまるで鏡のなかの自分自身を見ているかのようです…しかし、実際にはそれはエレメンタルであり、ただ一つ違いがあります。もしあなたが右手を動かすと、目の前のイメージは左手を動かし、その反対も同じです…そのイメージ、その像を見て下さい…もしあなたが微笑めば、その像も微笑みます。

今や、この部屋のなかには四つの異なった光があります…あなたのいるその部屋では四つの三角形が形成され、それらの三角形は真ん中で出会います…それらの三角形の底辺はその光が放射される壁です…それら四つの光が同時にあなたに触れています…あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願い、あなたの現在のパーソナリティー（それはそれらの三つの体、つまり肉体、サイキカル体、そしてノエティカル体です）を支え、築いているそれらのアークエンジェルのオーダーに感謝を捧げます。現在のパーソナリティー全体の健康を願います。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。終わります。

質問：意識を回転させるとき、身体全体が回転するのをイメージするのですか？

Ｋ：意識ではなく身体全体が回転します。そのためにイメージ化、視覚化をマスターする必要があるのです。あなたは常にそれぞれの色の壁に面しています。色はあなたの身体の前面に触れます。そして重要なことはあなたの感覚を自分が創造する自分のイメージに移送することです。あなたという存在がそこにいる必要があります。あなたは感覚を切断しますが、全ての感覚はそのイメージ像のなかにあります。私たちが“自分自身を見る”と言うとき、それはあなたがそこにいることを意味します。イメージという言葉は視覚化、ビジュアライゼーションにとって適切な言葉ではありません。

質問：あなたは五つのアークエンジェルについて述べましたが、生命の木の上では七つのアークエンジェルが物質のなかに降りてきます。他の二つはどこにいるのですか？

Ｋ：五番目の守護天使は数にいれていません。彼はアークエンジェルのオーダーには属していません。ですから他の三つということになります。創造界、実存の諸世界には四つのエレメントがありますが、それについては知っていますね。しかし、前に述べたように実際にはエレメントは四つではなく七つです。ですから他に三つのアークエンジェルのオーダーがあります。勿論、私たちはそれについては話しません。なぜなら、それらは現在のパーソナリティーが体を維持するために何もする必要のない世界の中にあるからです。それらは実存の諸世界ですが、現在のパーソナリティーはその体を傷つけることはできません。それらはサイコノエティカル界であり、その世界においてはパーソナリティーは自らを現す上でそうとは気づかずに五つの超感覚を使用しています。それゆえに、十四のステップがあるのです。各アークエンジェルには別の亜表現があり、そのために七が十四になるのです。

質問：その亜表現は似通っていますか、それとも反対ですか？

Ｋ：それは反対のものではありません。その現れは対立というものはありません…。いずれにせよ、それについては将来お話しします。時が来たときにレッスンとして話します。ですから、実際には七つのアークエンジェルとなります。

質問：光をはっきり見る能力は肉体、サイキカル体、ノエティカル体の健康を示す印ですか？

Page6

Ｋ：そうです、それは結果があるという証明です。しかし勿論、それだけに集中して刻印エーテルだけをマスターするためにワークをしたという可能性もあります…他のエーテルには手をつけずに。しかし、私たちは全てのものを同時に平均してマスターすることを望んでいます。また私たちがマスターするという時、完全にマスターすることは不可能です。完全なマスターは現在のパーソナリティーが自己実現に到達した時で、それ以前ではありません。自己実現に向けてのプロセス中におけるマスターは相対的なもので完全なるマスターではありません。

質問：生の現象として私たちには生のスパークがあるのではないですか？

Ｋ：私たちの全ての原子、分子、細胞は生きています。なぜ生きているのでしょうか？なぜなら内側に、最小なるもののなかに生があるからです。それらの原子、分子を活性化するのは私たち自身ではなく、私たちが食べる食べ物でもありません。私たちは食べ物を摂取することによって自分で体を維持していると考えていますが、それはイリュージョンにすぎません。もし私たちが自分が存在する手段にダメージを与えなければ、それらの体はずーと永続するはずです。しかし思考・行動の仕方として私たちは、体を維持するために他が行っていることにダメージを与えているのです。なぜ睡眠が必要だと思いますか？なぜなら目覚めている間に私たちは体に与えられているエネルギーを枯渇させてしまうからです。私たちはそのエネルギーのなかで泳いでいるのですが、それでもそれを燃やしてしまいます。そのために睡眠が必要なのです。寝ている間に少数ではなくて無数のアークエンジェルたちが私たちの内側で体を維持するために働いています。そうです、現在のパーソナリティーがそれら全てのアークエンジェルたちと協力して働くことのできる時がくるでしょう。そうなる必要があります。

質問：ある人達が話している境界、敷居の守護者ですが、境界の守護者達は

守護天使とは違いますが私たちの無知の全ての構成物、私たちの過去の行いのようなものであり、私たちはピラミッドに到達するためにこの守護者を通過するのでしょうか？

Ｋ：言い換えれば、それは原因・結果の法則のために働いています。現在のパーソナリティーを“義務”のなかに留めるもの、これを経なければならないと義務づけるものはそれ以外には何もありません。私たちは二元性、原因・結果の世界に住んでいます。そしてその法則を支配している存在がいます。しかし、どのように進み、どのようなレッスン、試練を受けるべきかを決めるのは私たちの魂のセルフ・エピグノシスです。それ以外のものを責めることは出来ません。どのように進むか、どのような体験を経るかを“決意”するのは私たちたちのインナーセルフです。なぜならそれは決意ではなく神の黙想のなかだからです。

それは黙想であり、それは全なるものの黙想と完全に同調しています。なぜなら私たちの魂のセルフ・エピグノシスは黙想し、ブレーシスつまり神のブレーシスを現わすからです。それは全なるものの神のブレーシスと完全に同調しています。しかし現在のパーソナリティーとして私たちは思考・行動の仕方だけを現わします。自己実現に到達したとき、その人はブレーシスを現わします。しかし、毎日の生活の中にいる間、思考はそのパーソナリティーのためにも表現されます。さもないと、そのパーソナリティーは他の人間にアプローチし、受け入れてもらうことができません。もし受け入れて貰えなければ、相手を助けることはできません。

ですから、この世界のバイブレーションにいる間、思考は表現されます。現在のパーソナリティーの諸体をマスターしたからといって神のブレーシスを現したり、神の黙想を現わすことはしません。しかしそれは、あなたが“経験すること”が本当に必要であると言う意味ではありません。それはあなたが助けようとする他の同胞の人々のためなのです。もしあなたが原因・結果の法則の下にあれば、勿論この世界にいる間あなたはその法則の下に置かれます。しかし、自己実現した人は両手を拡げてその法則を経ます。そこには恐れはありません。その人は完全にその法則と同調し、もしその法則の結果を受けることが他の人々の助けることになるのなら進んでその結果を受けます。

Page 7

質問：もし私たちが潜在意識のなかで泳いでいるのなら、全ての細胞はその上に記録されます…汎宇宙的なもの、されに私たち自身のものも。ですから私たちはそれであると言うことができるでしょうか？

Ｋ：私たちが何を現わそうとも、私たちは私的な潜在意識の結果です。しかし、一度自分の潜在意識のなかに入れば、あなたはあなた自身の潜在意識に入るのみならず潜在意識の海に入るのです。そしてその海のなかにはあらゆるものがあります。それゆえに私たちはいわゆる過去生を発見するために過去に戻ることのないようにアドバイスしているのです。

質問：全てが記録されているのであれば、私たちは既に潜在意識の海の一部なのではないでしょうか？

Ｋ：現在のパーソナリティーとしてのあなたは思考・行動の仕方であり、あなたの体があなたなのではありません。あなたは現在のパーソナリティーの現れであり、不定形の諸体がどれほど再形成されているかによります。それはまた潜在意識の表面にあるものとつながっています。マインド(Mind)の潜在意識を現在のパーソナリティーと一緒にしないでください。

質問：自己実現に到達した人は気づきが上昇しているので潜在意識のなかに入っても影響を受けることがないのですか？

Ｋ：そうです。もし自分の諸体をマスターすることなしに入れば、影響を受けます。というのもそれは単にフォーカスするという問題ではないからです。フォーカスすることは同調ではありません。何か、最小のものに同調し、そうと気づかずにそのパーソナリティーは同時にフォーカスするという多様性を現わしています。

質問：しかし不定形の諸体の形が再形成された人が潜在意識のあるポイントにフォーカスする時、その人はそこに行き、その周囲のことには影響を受けずにするべきことを行うことができるのではないでしょうか？

Ｋ：そうです、もしそのような人が低次のエレメンタルにフォーカスしても、諸体をマスターしていれば影響されることはなく、危険はありません。さらに、その人の周囲にどんな獣がいようともそれに害されることはありません。しかし、それらの獣はそれと近いバイブレーションを現わす人々に害をもたらします。それゆえに、さまざまなメソッドを使用して自分の潜在意識のなかでエレメンタルにアプローチする人々は、かれらの現在のパーソナリティーがアンバランスになっています。私たちはそのようなイリュージョンを求めません。潜在意識に同調するのは真剣な探究者がすべきことではありません。確かにあなた方はドラッグを使って潜在意識に同調することができます。過去においてそれは一般に行われていました。それは正しいことでしょうか？勿論違います。

私たちが何かを視覚化するときには、それを視覚化し、目の前になにか新しいものを創造します。汎宇宙的潜在意識のなかにある何かに同調するのではありません。何か生じた後にそれを目撃するということではありません。多くの人々はエクソマトシスを体験したと考えていますが、彼らが体験することは既に過去に起きたことを体験しているのです。あなたが自分の潜在意識と同調すると、あなたはそれらの出来事を活性化します。しかし、あなたがそれらの出来事を創造するのではなく、出来事を目撃するだけです。ただそれだけです。

EREVNA/SPA.27/K7N/03